

平成29年度 英語科 学習到達目標 CAN-DOリスト

指導時期		1 学期	2 学期	3 学期
理解	聞くこと	- 基本的なteacher talkを理解し、教師の指示通り動くことができる。基本的な英語を聞いて大意を把握することができる。 - 発音に注意して教師が発音した単語などを聞き分けることができる。	- ALTがイラストやジェスチャーを用いてはっきりした発音で話をすればおよその内容を理解することができる。 - まとまりのある英文を聞いて必要な情報を単語単位で聞き分けることができる。 - 案内や店内放送などについてのまとまった英文を聞いて内容を理解することができる。	- ALTがイラストやジェスチャーを用いてはっきりした発音で話をすればおよその内容を理解することができる。 - まとまりのある英文を聞いて必要な情報を単語単位で聞き分けることができる。 - 案内や店内放送などについてのまとまった英文を聞いて内容を理解することができる。
	読むこと	- ブロック体や明朝体で書かれた大文字・小文字がわかる。 【言語・文化】アルファベットテスト - 口頭活動ですでに慣れ親しんだ単語のつづりを見て読むことができる。	- 中学校1年の教科書で取り扱う(語いしベルの)日常生活に関する対話文や手紙文、日本語の注釈がついた簡単な物語文の概要を理解することができる。 - 英語で書かれた案内表示、店内放送などを見て内容を理解することができる。	- 中学校1年の教科書で取り扱う(語いしベルの)日常生活に関する対話文や手紙文、日本語の注釈がついた簡単な物語文の概要を理解することができる。 - 英語で書かれた案内表示、店内放送などを見て内容を理解することができる。
表現	話すこと	- 簡単な語を用いて、自分について限られた情報(名前、年齢など)で3～4文で自己紹介をすることができる。 - 単語を発音しながらジェスチャーで表現し、意味を同時に理解している。	- 自分の身の回りのことについて、写真やイラストを用いて、感想や理由なども含めて5文程度でスピーチをすることができる。 - 友達やALTに対して与えられた特定の表現を使って質問したり、答えたりすることができる。また、つなぎ言葉などを使って即興で1文付け足すことができる。	- 自分の身の回りのことについて、写真やイラストを用いて、感想や理由なども含めて5文程度でスピーチをすることができる。 - 友達やALTに対して与えられた特定の表現を使って質問したり、答えたりすることができる。また、つなぎ言葉などを使って即興で1文付け足すことができる。
	書くこと	- アルファベットの大文字・小文字、ローマ字を読みやすい字で書くことができる。 - 自分の名前を英語で書くことができる。	- 自分の身の回りのことについて、感想や理由なども含めて5文程度でスピーチ原稿を作ることができる。 - 定型表現を用いながら簡単なグリーティングカードを英語で書くことができる。	- 自分の身の回りのことについて、感想や理由なども含めて5文程度でスピーチ原稿を作ることができる。 - 定型表現を用いながら簡単なグリーティングカードを英語で書くことができる。